



全ては“であい”から・・・

園長 佐藤 幸子

桜が咲く桜色の4月から、新緑に変わる緑色の5月となりました。

年長組、年少組の子どもたちは、新しい生活に少しずつ慣れ始めてきているようです。

さて、子どもたちは幼稚園で、朝の身支度を自分でしたり、遊びの片付けをしたりと、先生や友達と一緒に生活をします。また、自分のやりたい遊びをしたり、時には先生や友達と遊んだり触れ合うことを楽しんだりもします。

子どもたちは生活や遊びの中で、様々なことを感じて過ごしていますが、子どもたちの様子を見ると、全ては“であい”から・・・なのだ、と改めて思い、更に“であい”があるから、何かが生まれ、感じ、考えるのではないかと思っています。

例えば・・・

*幼稚園に通い、人と(友達)の“であい”は、楽しさも感じますが、自分の感じ方、表現の仕方はみんな違うんだ、ということを感じます。

*遊具や用具との“であい”は、『遊んでみたい』『面白そう』と心が動きます。

*“であった”ことをやってみることで、『楽しい!』と感じ、繰り返し遊ぼうとします。

しかし、思ったようにできないと感じるかもしれません。

*今まで知らなかったこととの“であい”は、新しいことを知る機会になります。

*自然物との“であい”は、物事の不思議さ、面白さ、美しさ等々を感じる機会になるでしょう。



子どもたちにとって“であい”は、嬉しいこと・楽しいことがたくさんあってほしいと願います。しかし、悲しい、困った、悩む・・・という出来事にも“であい”からこそ、解決に向けて、考えたり、気持ちを整理しようとしたりする機会となるのではないのでしょうか。そのようなことが、大きくなるためには必要な“であい”ではないかと思えます。全身で心を揺り動かしながら、様々なことを感じられる大切な幼児期です。子どもたちの育ちの土台をしっかりとつくりたい、保護者の皆様と一緒に、子どもたちの“であい”、そして気持ちや育ちや経験を支えていきたいと思えます。子どもたちへの応援をよろしく願います。

5月の教育目標

◇年少組

- ・好きな遊びを見付け、自分なりに楽しむ。
- ・教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・幼稚園生活の約束や決まりがあることが分かり守ろうとする。

◇年長組

- ・友達と遊ぶ中で、思いを出し合って遊びを進める楽しさを知る。
- ・戸外で十分に体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。
- ・遊びや活動の中で、自分なりに目的をもって取り組み、楽しさを味わう。